

2025年度

二チイキッズ美濃加茂保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月6日（月）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月21日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	・戸外でのびのびと遊んだり、感触遊び、自然物を使った遊びをしたりと、子ども主体の保育を心掛けながら年齢や発達に合わせて様々な活動を取り入れていった。室内遊びの環境を整えていくことが課題である。
子どもの発達援助	・自治体の発達支援センターからの情報提供を基に、一人ひとりに合った関りや支援を行えるよう情報共有していった。また、ミーティングやケースカンファレンスを通して発達状況の把握に努めた。
保護者に対する支援	・保護者とコミュニケーションを取りやすい雰囲気を作り、信頼関係を築いていくようにした。保護者交流会や親子交流会などの行事を通して保護者同士で交流する機会を設けることができた。地域の保護者支援の場として、子育て広場の充実を図っていきたい。
保育を支える組織的基盤	・リーダーを中心として、子どもの発達や成長に合わせてクラス運営を行っていった。外部研修への積極的な参加や園内研修の充実によりスキルアップを図った。研修で学んだことを生かせるよう取り組んでいきたい。

総評
今年度の課題であった保護者同士のつながりについて、交流会や懇談会などの行事を行うことで交流の場を設けることができた。もっと気軽に参加したり、交流を深めたりしていけるような工夫をしながら引き続き取り組んでいきたい。ミーティングやケースカンファレンス、研修等を通して子ども理解を深め、一人ひとりに寄り添った対応や支援を行えるようにした。次年度に向けては、研修で学んだことを有効に取り入れたい生かしたりしながら、保育の質を高めていけるようにしたい。